

一目惚れのメカニズム

永田 円了

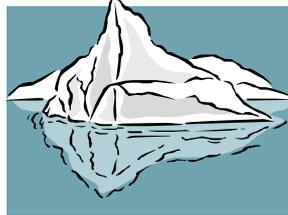
人にはどうして、一目惚れという現象が起きるのだろうか。不思議なことである。この現象を心理学者ユングは、内なる異性:アニマ(男の中の女性性)、アニムス(女の中の男性性)の存在で説明している。



アニマとは、男性のなかの女性性

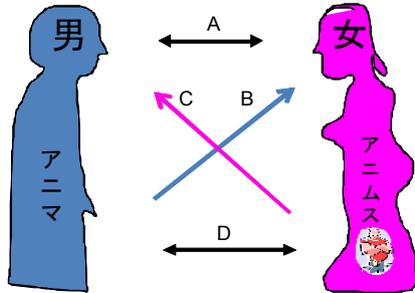


アニムスとは、女性の中の男性性のこと



男性がある女性に一目惚れするのは、男性の中の女性性(アニマ)を、その女性に投影して、その投影された像に惚れているという。逆に女性が男性に一目惚れするのは、女性の中の男性性(アニムス)を、目の前の男性に投影して、その投影された像を恋していると解釈する

一目惚れのメカニズム



A は、表層における男女の交流

Bは、男が女に一目惚れするときのメカニズム

男の中のアニマを、目の前の女性に投影して、その女性像に恋をしている状態

Cは、女性が男性に、一目惚れをするときのメカニズム

女の中のアニムスを、男性に投影して、その男性像に恋をしている姿

Dは、男女が逆転している状態: 男性の女性願望、女性の男性願望

社会が求めるもの ~ 男は男らしく ~ 女は女らしく ~

「情にながされ、涙っぽい男」と、「理屈をいう女」は、地獄の閻魔さまも、すたこら逃げ出すという

自分の中の、アニマ、アニムスと、うまく付き合わなければならない

自らの闇(アニムス)を否定すればするほど、このアニムスは暴れたす(理屈っぽい女性になる) — 事例『嵐が丘』より

